

# 加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成27年10月

## 加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略

1	策定方針	1
2	位置づけ	1
3	対象期間	1
4	政策の目標と基本的方向	2
	基本的理念	
	基本目標	
	(1) 国全体の施策	2
	(2) 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり	3
	(3) 高齢者も幸せに暮らせるまちづくり	4
	(4) 障害者にやさしいまちづくり	5
	(5) ふるさとに対する誇りを高める施策の推進	6
	(6) 日本人のたしなみとしての技芸教育を振興し、小京都 加茂に対する愛着と誇りをかん養する。雪国に生まれ 育った人間のたしなみとしてのウィンタースポーツの 教育の振興。	7
	(7) 農業の振興	8
5	P D C Aサイクルの確立	8

## 1 策定方針

加茂市はこれまで他の市町村に先駆けて先進的な施策を実施してきた。これを実施し続けているところである。この度、加茂市が実施している数々の先進的な施策を含め総合戦略を策定するものである。

## 2 位置づけ

本戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」第10条に基づき、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と新潟県の「総合戦略」を勘案し、「加茂市人口ビジョン」による分析を踏まえ、加茂市の今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示すものである。

## 3 対象期間

本戦略の対象期間は、平成27(2015)年度から平成31(2019)年度までの5年間とする。

## 4 政策の目標と基本的方向

### 基本理念

「加茂市民が幸せで住み続けたいくなるまちづくりをし、人口の流出を抑制する」

### 具体的な政策について

#### (1) 国全体の施策

加茂市が実施している数々の先進的な施策を含め総合戦略を策定し推進していくにあたり国全体として次の支援が必要であり、積極的に提案・要請していく。

- 1 地方交付税（臨時財政対策債を含む。）を20%アップすること
- 2 少子化対策として、官庁だけでなく全国で育児休業を3年とれるようにし、給料相当額を全て国が出すこと
- 3 緊急雇用対策の資金として制限付きでない自由な金を出すこと

## (2) 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

- 数値目標**：
- ・ 毎年の出生数：年間 200 人 5 年間で 1,000 人
  - ・ 合計特殊出生率をあげる：H25 年 1.41 → H32 年 1.45

### 基本的方向

- 出産から子育てまで切れ目なく様々な助成を行い支援することで、子どもを育てやすい環境を作って、合計特殊出生率を向上させる。
- 子育て中の働く女性を支援することで、世帯あたりの子供の数を増やす。
- 少子化対策として国から全額金をもらって 3 年間育児休業手当を支給する。この手当は、給料全額に相当する額とする。

主な施策と具体的な事業	2020 年 KPI (成果目標)
県内トップクラスの子ども医療費助成を行う。 [具体的な事業] (子ども医療費助成事業費)	出生数 前年より増加
妊娠から出産まで助成を行い支援する。 [具体的な事業] (不妊治療費助成事業費) (妊産婦医療費助成事業費)	出生数 前年より増加
幼稚園・保育園の運営を補助する。 [具体的な事業] (私立保育園運営費補助金) (私立幼稚園運営費補助金) (保育園の保育料の軽減) (幼稚園の保育料(利用者負担額)の補助)	①出生数 前年より増加 ②3歳未満児の利用 増加
児童館を充実する。 [具体的な事業] (児童館の充実)	出生数 前年より増加
世帯あたりの子どもの数を増やす。 [具体的な事業] (誕生祝金)	第3子以降の子どもの数 5年間で200人
加茂病院に個室20室の産科を復活する。	加茂病院での出生数 年間 500～800人
加茂病院に病児・病後児保育施設を設置し、運営する。 運営規模 保育士3人 看護師1人 病児5人 病後児5人 最大収容人数18人	病児・病後児保育利用者延べ人数 年間 3,650人

### (3) 高齢者も幸せに暮らせるまちづくり

**数値目標**：転出者：前年より減少  
転入者：前年より増加

#### 基本的方向

- 医療・福祉を充実し、高齢者も幸せに暮らせるまちづくりを行うことで、若い人も安心して年を重ねられるまちをつくる。その結果として人口の流出を抑制し、一度転出した「加茂市生まれ」の人の流入を促す。

主な施策と具体的な事業	2020年 KPI (成果目標)
高齢者が、介護が必要な状態になっても加茂市で暮らしているように利用しやすい介護サービスを充実させる。 [具体的な事業] (訪問看護・ホームヘルプ・訪問リハビリテーション利用料を全額助成)	ヘルパー70人以上と訪問看護師数4人以上を堅持する
第四平成園を早期に完成させる。	構想の策定

#### (4) 障害者にやさしいまちづくり

**数値目標**：転出者：前年より減少  
転入者：前年より増加

##### 基本的方向

- 医療・福祉を充実し、障害者も幸せに暮らせるまちづくりを行うことで、安心して年を重ねられるまちをつくる。その結果として人口の流出を抑制し、一度転出した「加茂市生まれ」の人の流入を促す。

主な施策と具体的な事業	2020年 KPI (成果目標)
障害者が、介護が必要な状態になっても加茂市で暮らしていけるように利用しやすい介護サービスを充実させる。 [具体的な事業] (訪問看護・ホームヘルプ・訪問リハビリテーション利用料を全額助成)	ヘルパー70人以上と訪問看護師数4人以上を堅持する

## (5) ふるさとに対する誇りを高める施策の推進

- 数値目標**：
- ・ふるさと愛が増した人の割合　：増加
  - ・20代の若者の転出者数　：前年より減少
  - ・地元就職説明会への参加者数　：前年度より増加
  - ・ふるさと回帰する者の数　：60歳代の転入増

### 基本的方向

- 進学、職業に対する知識を深めた後で、加茂市に戻って生活できるように大企業をはじめとした多様な仕事の受け皿をつくる。
- ふるさとの伝統・文化に対する理解を深めることで、ふるさとを愛する人を増やして転出者数を抑制する。
- 加茂市の美しい自然を整備して人を呼び込むことで、観光業や林業でしごとをつくり、地域への定住を促進する。

主な施策と具体的な事業	2020年 KPI (成果目標)
大企業誘致特区の認定を目指し、これにより大企業の誘致を行う。 [具体的な事業] (企業設置奨励事業費)	大企業誘致件数 1件
加茂和紙の紙漉き技術を保存、振興する。 [具体的な事業] (紙漉き技術保存振興事業費) (紙漉き技術後継者育成事業)	和紙を商品化する 後継者 1人→2人
加茂市史を編纂し、ふるさとの歴史に対する理解を深める。 [具体的な事業] (市史編さん費)	完成・出版する
桐たんす・建具を中心に木工業の販路開拓を推進する。 [具体的な事業] (桐タンス・建具等販路開拓事業費)	販路を1つ増やす
粟ヶ岳・加茂山周辺の遊歩道、登山道を整備する。 [具体的な事業] (里山遊歩道整備事業)	粟ヶ岳県民休養地 入込客数 年 10,000人 加茂山公園 入込客数 年 28万人
ふるさと納税を推進する。加茂市の物産品を返礼品として差し上げる。	ふるさと納税額 年間 1,000万円

(6) 日本人のたしなみとしての技芸教育を振興し、小京都加茂に対する愛着と誇り  
 をかん養する。雪国に生まれ育った人間のたしなみとしてのウィンタースポーツ  
 の教育の振興。

数値目標：転出者数：前年より減少

基本的方向

- 日本人のたしなみとしての技芸教育を振興し、小京都加茂に対する愛着と  
 誇りをかん養する。雪国に生まれ育った人間のたしなみとしてのウィンタ  
 ースポーツの教育を振興する。

主な施策と具体的な事業	2020年 KPI (成果目標)
日本人のたしなみとしての技芸教育を振興し、小京都加茂に対する愛着と誇りをかん養する。雪国に生まれ育った人間のたしなみとしてのウィンタースポーツの教育を振興する。 [具体的な事業] (武道の授業、茶道のクラブ活動、華道のクラブ活動、書道のクラブ活動、美術のクラブ活動、邦楽のクラブ活動、詩吟のクラブ活動、スキーのクラブ活動)	左記のクラブ活動に参加する生徒数の増加

## (7) 農業の振興

**数値目標**：認定新規就農者数：毎年1件 5年間で5件  
農業者及び農地の減少を食い止める  
後継者の数を増加させる

### 基本的方向

○加茂市で農業をやりたいと思えるように担い手の育成や、加茂市でがんばる農家を支援する。

主な施策と具体的な事業	2020年 KPI (成果目標)
農機具購入を補助する。 [具体的な事業] (農林業総合振興事業費)	認定新規就農者数 毎年1件 5年間で5件 農業者及び農地の減少を 食い止める 後継者の数を増加させる

## 5 PDCA サイクルの確立

総合戦略については、基本目標及び重要業績評価指標 (KPI) を設定しているため、PDCAの取り組みを通じて、その進捗度の検証、見直しを行っていくものとする。検証、見直しについては、指標に基づきおおむね2年に一回程度評価を実施し、民意を反映させるため、市長の任期に合せ4年に1回の見直しを基本とし、社会経済情勢にあわせて随時見直しを行って成果重視型の行政運営を推進していく。

検証・見直しに際しては、その妥当性・客観性を担保するために、外部有識者で構成される加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を活用するものとする。